

<定例記者会見>

平成 27 年 11 月 27 日 11 時～

平成 27 年生駒市議会（第 5 回）定例会（12 月）提出議案について

質疑応答

記者 教育委員に子育て世代の女性を任命するということだが、該当するのは誰か。

市 浦林さんと坪井さんです。二人とも公立の学校に通っている子どもをもつお母さんです。

記者 任命式はいつごろ行うのか。

市 議会に同意をいただいて 1 月から活動する予定です。辞令交付など改めて連絡します。

記者 議決が通ると、任期は来年 1 月 1 日からなのか。

市 はい。教育委員の任期は 4 年ですが、今回に限り文科省の制度改正もあり柔軟に対応ができることになっています。詳しく申し上げますと、任期が 2 年と 4 年になっている方が 3 名ずついらっしゃいます。上田さん、寺田さん、レイノルズさんの任期は 2 年、その他の方の任期は 4 年です。もちろん再任もあり得ます。

記者 なぜ任期が異なるのか。

市 違いは本人の希望にもよります。

記者 英語が堪能な人が多いのは偶然か。

市 英語ができる人を優先したわけではありません。結果的に皆さんご堪能だったということです。

記者 教育委員が英語ができることでなにかメリットはあるのか。

市 英語教育をどうしていくかは大きな課題です。英語が堪能な委員からはいろいろな意見がいただけると考えています。

記者 市立病院の診療科目の追加について、形成外科は今まで対応できなかったということか。

市 専門的な先生が新たに着任されたことも大きな理由のひとつです。今までは形成外科の専門ではありませんが、外科の先生がいましたので外傷などの対応はしていました。より機能的な問題への対応や手術・手当てしたあとの見た目の部分も含めて、今より専門的に対応できる先生の着任により新たに追加するという事です。

記者 救急科ができることでこれまでとなにか変わるのか。

市 大きな変化はありません。市立病院が開院してから課題もまだありますが、救急は積極的に受け入れもしてもらい市内の病院への搬送率も非常に上がっています。参考資料の中にもありますが、当直時間でいうと去年は55.5%だったのが70%を超え、搬送率も上がるなど一定の成果も出ております。診療科目として掲げることで、新しい救急医になりうる若い先生も受け入れる準備が診療科を設けることでできるなどプラスアルファの効果があると考えます。

記者 教育委員は市内在住の人のみにしぼったのか。

市 公募については、応募条件として市内在住で子どもが公立の幼保小中に通っている人とししました。公募以外の方は、必ずしも市内在住でいけないわけではありませんが、基本的には生駒に住み、肌感覚として生駒の教育についてわかっておられる方がベターだと思っていました。たとえば市外に住んでいる人でも、より生駒市の教育についてプラスの対応をしてもらえる方がいれば、それは将来的に排除するものではありません。今回はこれだけの方が市内にいらっしゃるので、あえて市外の方に来てもらうことまでは必要ないという判断です。

記者 生涯学習施設の指定管理者に(株)よしもとデベロップメントとあるが、よしもとが指定管理をするのは珍しいことか。

市 大阪の柏原市、奈良の香芝市など5自治体で実施しています。

記者 組織改正について、4月に秘書課と広報広聴課を一緒にしたばかりだが1年で変えるということは、前市長の退任決定がわかっていたのに統合したという経緯も含めて、説明してほしい。

市 秘書課と広報広聴課の統合によるプラスの効果を想定して、前市長が一緒にしたという経緯があります。特命事項・スケジュール管理も含めた

業務を行う秘書課と、記者の皆さまとのコミュニケーションなど、どちらかという対外的に出ていく広報広聴課との機能面で、想定していた効果が出てこないのではと思いました。私も副市長のときに、統合について一旦は理解をしてこのようになったことについて責任はありますが、今後、広報広聴課にはシティプロモーションを行うなど課の存在が大きくなりますので、秘書課と一緒にするよりは単独で他の課との連携を繋げてもらいたいという趣旨から分けることとなりました。

記者 市長の退任がわかっていたのに、あわてて統合する必要もなかったという意見もあった。結果としては失敗だったということか。

市 2課を分けることが市民に対してよりよい体制であると私は判断します。

記者 議案以外のことだが、山麓公園でレジオネラ菌が発生した件について、今の時代に非常に恥ずかしい話である。ちゃんとしていけば出るはずがない。改修が近いことから手を抜いていたのではと想像できるのだが、事後に市として何らかの対応や注意はしたのか。

市 もちろんしています。今回の件は、市民の皆様にも非常にご迷惑をおかけしたことについて大変申し訳なく思っています。郡山保健所にも確認してもらい、体制としてこれで大丈夫というお墨付きもいただいたうえで再開ということになりました。レジオネラ菌については、全国的にみると他の施設でも出ていることはありますが、山麓公園で出たことについては、管理体制が不十分だったと反省をしています。手を抜いていたというわけではございませんが、菌が出たことは事実です。設備自体も最新のものではないので、だからこそしっかりと日常の管理・点検をしないといけないことを厳しくお願いしました。

記者 指定管理者がいい加減にやっているのではないかという声もあるが、注意しただけなのか。

市 今週の火曜日に指定管理者の代表者に来てもらった席上で今後の対応について指示を出しています。